

みちしるべ

発行責任者 四街道市青少年補導委員連絡協議会
会長 青木 盛雄

事務局 青少年育成センター
電話 043(421)7867

「かけがえのない存在」

四街道市教育委員会教育長 木村 俊幸

先日、旅行の際に東京駅で乗り換えた。東京駅は大改修が終了したばかりで、地下通路は広々としていた。しかし、縦横無尽に行き交う人込みは相変わらずで、むしろ広くなった分、増したようにさえ思え、そうした人波に飲み込まれそうな感覚を覚えた。

そのような東京駅の雑踏の中で考えたことがある。およそ5、6人のグループや10数人程度の集団であれば、自分という者の存在感をしっかりと自覚できるし、自己を発信することも容易であり、相手にも受け止めてもらえるだろうという安心感も得られる。しかし、あまりにも大きな集団となれば、自己存在感が薄くなったり自己有用感を持ちづらくなったり、時には無力感に襲われることもあるのではないだろうか。そんなことを思った。

様々な情報が次々に発せられ、集まってきます。人間関係が希薄化した今日では、ともすると自分を見失ったり、自信が持てなくなったり、自尊心さえ持ちづらくなることもあります。感情は行動を支配することから、子ども達には、一人ひとりがかけがえのない存在であるとの意識を強く持ってほしいと願っているところです。このような状況の中で、青少年補導委員の皆様による「愛の一声」をはじめ様々な活動が、青少年に自分を取り戻させ、生きる勇気に目覚めさせる力になるなど、健全育成に多大に貢献されていると思っています。まさしく皆様の活動は、若者に対してのみちしるべであり、そうした皆様の献身的な活動には頭が下がり、心から敬意を表するとともに感謝いたしております。

ネット上のトラブルから青少年を守ろう

～スマートフォンやゲーム機も

有害情報につながる危険があります～

いつでもどこでも、誰とでも簡単につながり、様々な情報を収集・共有できるインターネットはとても便利で、今や生活に欠かせないものとなっています。しかしその反面、青少年が簡単に有害サイトにアクセスし、事件やトラブルに巻き込まれるケースが増えています。青少年が健全にインターネットを利用できる環境づくりのため、親子で一緒にネット利用のルールについて話し合うことが大切です。県でも、啓発やネットパトロールを実施していますが、家庭でもフィルタリングを利用するなど、子ども達をトラブルから守りましょう。



※フィルタリング

インターネット上の有害サイト（出会い系、アダルトなど）を閲覧できないよう制限するサービス。青少年が利用する携帯電話、スマートフォンなどに設定する。携帯電話の場合、基本的には購入時に事業者が設定する。子どもの年齢（学年）や、インターネットの理解度、必要性に応じて設定ができる。

愛のみち子さん vol.5



第2回 四街道市青少年補導委員研修会

～東京都八街学園と千葉地方裁判所を視察～

10月10日(水)四街道市青少年補導委員と育成センター職員の29名が参加し、視察研修会が開催されました。

八街学園は、東京都社会福祉事業団が運営する「児童養護施設」です。緑の多い住宅地の中にあり、学園長の増島忠文氏と養護係、自立支援のスタッフの皆さんにお話を伺い、園内を案内していただきました。

学園では、さまざまな理由により、家庭で生活することが困難な子どもを入園させ、家庭に代わって養育し、自立と家庭復帰を支援しています。

2歳以上の幼児から高校生(18歳)までの男女が同じ寮で生活しています。現在は52名が8つの寮に分かれ、職員とともに二人部屋か個室で生活しており、そこから幼稚園や学校に通っています。部屋も見せていただきましたが、プライバシーも守られ、お互い快適に生活できるよう、きめ細かな配慮がうかがわれました。

学園長は、初めて入園してきた子どもにはまず、「これから楽しい思い出をたくさん作っていきましょう」と話されるそうです。ほとんどの子どもは、高校を卒業するまでに家庭に戻ることは無く、学園から就職し巣立っていくそうです。卒園した子どもの中には、結婚の報告をしに来る子どももいるとのこと、職員の方が嬉しそうに話されていました。立場は違いますが、子ども達を見守る目と気持ちには共通するものがあるように感じました。

千葉地方裁判所では実際に行われている「殺人未遂」「自動車運転過失」「窃盗・強盗」の裁判を傍聴しました。法廷内の裁判員裁判など、ニュースで報道されるような裁判を体験をすることが出来ました。この貴重な体験から、我々青少年を守るものとして、子ども達がこのような裁判に、当事者として関わることを願わずにはられません。



八街学園

東京都八街学園の視察では、子ども達が、大変恵まれた環境で育てていることを実感いたしました。小学校高学年児童が自ら洗濯をし、干して畳むという自立ぶりをみて、我が子の片付けられない有様との相違を恥ずかしいほど見せつけられました。ただ、“家族といる幸せ”を考えると切ない気はしますが、学園の方々の良い思い出をたくさん作ってあげたいという想いが、子ども達の成長を支えているように思いました。その他、盛りだくさんの日程を満喫できました。ありがとうございました。

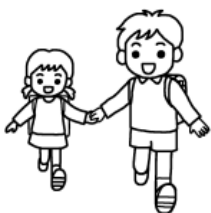
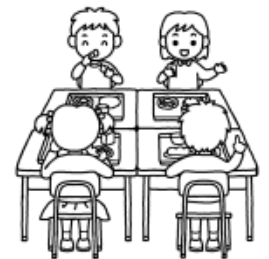
四街道西中学校区 越田 百合

バスで向かった最初の見学先、児童養護施設の東京都八街学園は、様々な事情で保護者と暮らせない子ども達(幼児～高校生)52名が寮生活をしており、緑豊かな環境に囲まれ、子ども達のプライバシーへの配慮と家庭的な雰囲気が感じられました。昼食後に訪れた千葉地裁では、刑事事件を数件傍聴し、裁判員裁判の様子も垣間見ることができました。最後に千葉市立郷土博物館を見学し、内容の濃い一日となりました。

四街道中学校区 井上 慶子



寮内食堂



今後の主な活動 (11月までの活動は終了しました)

- ◎ 12月13日(木) 千葉市・四街道市隣接地域交流会(千葉県教育会館)
- ◎ 1月31日(木) 千葉ブロック研修会(木更津市)
- ◎ 5学区合同パトロール 12月14日(金) 四街道西中学校区
1月21日(月) 旭中学校区

5学区合同パトロール実施報告

千代田中学校区 9月4日(火) 17:00～ 参加者 30名

千代田中学校区内3校の校長先生方をはじめ、各学区の補導委員、多くの学校関係者の方々の協力の下、実施しました。

千代田中学校から3コースに分かれ車で移動でしたが、途中公園などで下車し、通学路や住宅地を徒歩でパトロールしました。明るい時間帯でしたが、子ども達の姿はあまり見かけませんでした。

情報交換会では「通学路の街灯が樹木でさえぎられており暗い」という問題点があげられました。また「地域のバックアップが強く、気持ち合いが通い合っていて良い」等の感想を頂きました。

橋の下等の人目につかない場所、工業団地のように、巡回を要する地点が離れており、巡視ルートが広いことから、千代田中学校区の補導委員の皆さんのご苦勞がわかりました。物井駅付近の開発に関するお話を伺い、今後の治安状況を注視していくべき地域ではないかと思いました。

四街道北中学校区 丹羽 吾郎

四街道中学校区 10月24日(水) 17:30～ 参加者 37名

四街道中学校にて、他学区の補導委員とともに合同パトロールを行いました。学区内の校長、教頭始め先生方、PTA会長、そして危険個所を知りたいと清水市議と鈴木市議が参加されました。パトロール後の情報交換会では「暗い所と明るい所がはっきりしている」「坂が多いのが気になった」等があげられました。小中学校の校長先生から、子ども達の様子を伺うことが出来ました。他にも様々な意見や感想を聞いて、大変有意義な会になったと思います。



四街道北中学校区 11月8日(木) 18:30～ 参加者 25名

学区内の先生方にも多数参加していただき、3コースに分かれて行いました。意見交換では、他学区の方より「北中学校区は暗い所が多い」「中央公園が暗い」「人との出会いの多い学区だと思った」等の感想を頂きました。

これからも「私達は子ども達を叱っているのではなく、あたたかい声をかけている」という気持ちをもって活動していきたいと思えます。

四街道市民になってかれこれ10年近く経ちますが、この6月から補導委員としてパトロールに参加するたびに、いかに自分が地域のことを知らずに過ごしてきたかを痛感しています。今回の北中学校区も初めて行くところばかりでした。

活動して思うことは、多くの方の温かい目や心そして地道な活動で健全な地域社会は成り立っているのだなということです。

残すところあと数ヶ月で補導委員の委嘱期間も終わりですが、これからも健全な地域社会を少しでも支える一人でありたいと考えます。

旭中学校区 松尾 優子

千代田中学校PTAとの交流会

10月20日(土)千代田中学校PTA会議室において、青木会長と学区補導委員4名が出席し、千代田中学校PTAの方30名と、約1時間交流会を持ちました。

四街道市青少年補導委員連絡協議会の説明と千代田中学校区の活動紹介をしました。中学校からは、先生方が下校後1時間ほどのランニングパトロールをし生徒たちに声かけを行っている事、また安全委員会では、行事の際の駐車場の警備や夏祭りのパトロール、学期始めの挨拶運動に参加しているとの報告を伺いました。補導委員からは「子ども達の安全を見守り、声かけをさせて頂き今後もこの交流会を継続したい」とお伝えしました。

また、10月13日(土)八木原小学校運営委員会、10月14日(日)南小学校評議委員会に出席し補導委員の説明を行いました。「補導委員としての役割、関わり方がPTAの皆様へ解って頂けて良かった」「今までは、PTAと補導委員の活動が独自で接点がありませんでしたが、今後もう少し密接に繋がり、一緒に活動できるようにしていきたい」等の意見を頂きました。



『すべての青少年が安全で安心し、健やかに生きる社会の構築に向け、 我々が一致結束して取り組むことを本大会の名において決議します』

≪平成 24 年度 関東・甲信越静地区青少年補導センター連絡協議会第 29 回研修大会「千葉大会」≫



10月18日(木)・19日(金)船橋市市民文化ホールに於いて、関東・甲信越静地区青少年補導センター連絡協議会、千葉県青少年補導センター連絡協議会主催の研修会が開かれ、本市より20名が参加しました。

大会では「子どもを取り巻く社会と時代を読む」と題して、ノンフィクション作家佐野真一氏が、著書3冊を題材に講義を行いました。貧しいながらも素晴らしい作文を書く「やまびこ学校」の子ども達、ソフトバンク社長 孫正義氏の幼少期の体験談、沖縄戦線で過酷な体験をした生き残りの孤児たちの話を通して、「教育が時代を作る」と語られました。全体会では、分科会の活動報告がなされ、第29回「千葉大会」大会決議文(標題)が満場一致の拍手で承認され、閉会となりました。

今大会に参加し、関東各地から大勢の補導(委)員が集う様を見て、補導(委)員が全国的な組織だということを改めて実感するとともに、講義後の質疑応答では、子ども達への接し方などについての質問が多数される場面もあり、皆、同じ想いで活動しているのだと共感しました。一人の声かけは「一声」にすぎませんが、大きな組織を通して、日本中で、何百、何千という声かけが子ども達に為されているのだと思うと大きなパワーを感じ、頼もしく、大会に参加できたことを大変有意義に思いました。

県下一斉広域列車補導



実施日時	10/4(木)	10/23(火)	9:00~11:00
	10/16(火)	10/18(木)	14:30~16:30
実施区間	JR総武本線【千葉駅⇄四街道駅⇄物井駅⇄佐倉駅】		



今年も千葉県一斉列車補導が育成センター職員や青少年補導委員延べ54名の参加で実施されました。列車内や駅構内での迷惑行為やマナーの改善を図る事を目的とした「愛の一声」運動を行いました。

列車内及び駅構内、周辺のパトロールに参加しました。私の参加した日は午前中ということもあり、中高校生の姿はほとんど見られませんでした。テスト期間で早く帰る子ども達がおおり、声をかけることができました。

先輩補導委員の方々が笑顔で優しく声かけをしている姿を見て、私も緊張しながらも「こんにちは」と笑顔であいさつをすると、どの子も話を聞いてくれ、素直な子ども達が多いなど大変嬉しく思いました。地域社会の人間関係の希薄化を感じる昨今ですが、子ども達が安心・安全に生活できるよう、大人一人ひとりが見守っていく気持ちが大切だと感じました。

旭中学校区 笹原 純子

第32回四街道市社会福祉大会 (四街道市社会福祉協議会)

11月25日(日)四街道市社会福祉大会において青少年補導委員の萱沼左智子さん・吉橋朋子さんの2名が永年の功績に対して、会長表彰されました。



～編集後記～

2学期も終わりに近づき、今年も残りわずかとなりました。子ども達が冬休みを安心・安全に過ごせるよう日頃の青少年育成活動を充実させ、地域の皆様のご協力・ご理解を得て、元気に新学期を迎える事ができるように努力していきたく思います。

